

小児のアレルギー性鼻炎



小児のアレルギー性鼻炎では、症状を訴えることが 少なく見逃されることが多いです

下記の症状はアレルギー性鼻炎のサインです
注意しましょう

鼻をいじる
目や鼻をこする
が最も多い症状です

よく鼻血を出す
鼻をいじりすぎです

鼻づまり
口で息をしている
いびきをかく

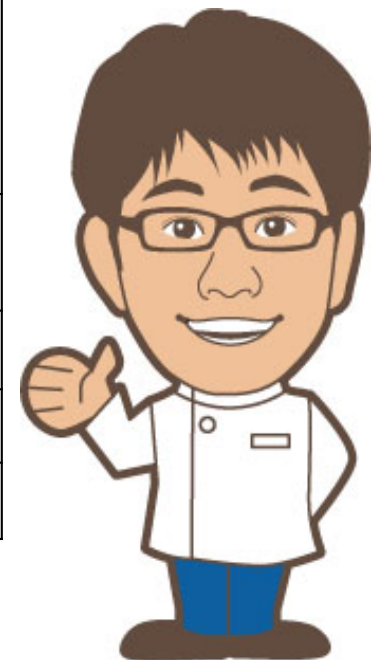
鼻や口の周りを
しかめる

起床時のくしゃみ
鼻汁



小児のアレルギー性鼻炎の診断

問診	鼻をいじる、目や鼻をこするが最も多い症状 大人より鼻づまり型が多く、くしゃみ型は少ないです 鼻いじりすぎによる鼻出血 目のかゆみなどの症状も大人より多いです 鼻や目の周りをしかめる アトピー性皮膚炎や喘息のある子どもは要注意です
鼻視診	大人は、サラサラの鼻汁ですが、子どもはサラサラ～ネバネバ鼻汁のことが多いです
内視鏡検査	鼻の奥の副鼻腔自然口やアデノイドの状態を見ます
鼻汁好酸球検査	複数回行いことがあります
血液検査	原因物質がわかります　ハウスダスト、花粉症など



アレルギー性鼻炎の薬物治療の決め方

例えば・・・

- ・ くしゃみが1日6回以上
- ・ 鼻をかむ回数が1日6回以上
- ・ 口呼吸が1日のうちときどきある

のいずれかを満たせば、中等症以上です
11回以上なら重症です・・・

中等症以上では、2種類以上の薬で治療
をする必要があります

病型

鼻汁・くしゃみ型
鼻閉型
充全型

重症度

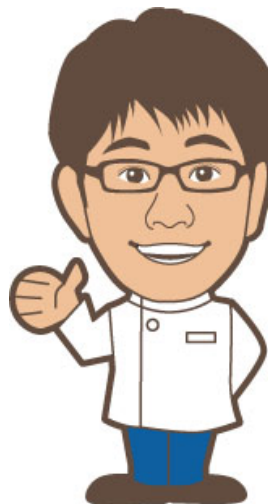
くしゃみの回数
鼻をかむ回数
鼻づまりの程度
生活の支障度

軽症
中等症
重症、最重症
に分けて薬物治療
を行います

**十分な効果！ 少ない副作用！
が大切です**



り耳鼻咽喉科



アレルギー性鼻炎のくすりの種類（内服薬）

抗ヒスタミン薬

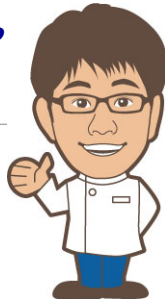
アレグラ クラリチン
ザイザル ジルテック
タリオン エバステル
アレロック

- ・ 鼻汁・くしゃみに即効性があります
- ・ 眠気の副作用があります
- ・ 効果が強いほど、眠気が強いです
- ・ 小児では、副作用として興奮や痙攣誘発も報告されているので注意が必要です
- ・ きちんと内服しないと効果が十分ではありません

抗ロイコトリエン薬

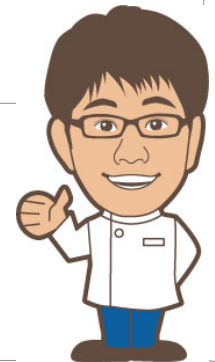
オノン
シングレア
キプレス

- ・ 鼻閉に効果があります
- ・ 効果が出るまでの期間が長いです（数日～数週間）
- ・ 眠気はありません



セレスタミン

- ・ 鼻汁・くしゃみ・鼻閉すべてに効果があります
- ・ ステロイドと抗ヒスタミン薬の合剤です
- ・ 効果は強いですが、副作用も多いです
- ・ 重症例に4～7日の短期間使用します



アレルギー性鼻炎のくすりの種類（点鼻薬）

ステロイド点鼻薬

アラミスト
ナゾネックス
フルナーゼ



- ・ 鼻がつまっているときや鼻汁が貯まっているときは効果が期待できないため、**鼻をかんでから使用して下さい**
- ・ **即効性がないからといって、勝手にやめずに継続して使用して下さい**
- ・ 全身の副作用は通常みられません
- ・ 乳幼児では点鼻薬を嫌がることも多いのですが、重篤な副作用は報告されておらず、有効性が報告されています

血管収縮薬

- ・ 1週間以内に限定して使用して下さい
- ・ **ステロイド点鼻の数分前に併用して下さい**
- ・ ステロイド点鼻の効果が出てきたら血管収縮薬を止めて下さい



り耳鼻咽喉科

アレルギー性鼻炎で通院中の保護者の方へ



日常生活での注意点

- 子どもの近くでタバコを吸うのはやめましょう
- そのまま放っておくと、鼻のかゆみが気になって授業に集中できない、鼻がつまって眠れないなど、日常生活に影響を及ぼします
- 乳幼児の場合は、鼻がつまってミルクが飲めなくなったり、食事ができなくなったりすることもあります

アレルギーの原因物質（アレルゲン）を調べましょう

血液検査などで原因（ハウスダスト、花粉症など）を調べましょう

アレルゲンの除去や回避

- アレルギー性鼻炎の治療の基本です
- ご家族が日常生活の中で行うことのできる治療法です

アレルギー性鼻炎は、自然に治りにくく長期にわたって治療・管理が必要です
いずれは子ども自身が自己管理できるように指導します

